

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **【新】岐阜関ヶ原古戦場記念館観光・研究拠点事業費（R8 分）**

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

観光文化スポーツ部 岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係 電話番号：0584-47-6070

E-mail：c23116@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 61,580 千円 （現計予算額： 0 千円）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	61,580	26,927	0	0	0	0	0	0	34,653
決定額	61,580	26,927	0	0	0	0	0	0	34,653

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

岐阜関ヶ原古戦場記念館は、戦国・武将観光の拠点として観光誘客を促進していく必要があり、メディア等とコラボしたイベントや各種ワークショップ等を開催することで記念館の魅力を高め、記念館への来館及び関ヶ原一帯へ人を呼び込むことが求められている。

また、博物館登録（令和7年度）を機とした一層の学術的魅力的向上のため、関ヶ原研究会による最新研究の情報発信や、若手研究者など次世代人材の育成など、関ヶ原研究の拠点化を推進していく必要がある。

（２）事業内容

- ①メディア等と連携した誘客イベント
- ②関ヶ原研究の拠点化推進
 - ・関ヶ原研究会による最新研究の情報発信
 - ・次世代人材の育成
- ③PR広報事業
 - ・リーフレット等の作成
 - ・動画制作とSNSによる情報配信
- ④学びの拠点事業
 - ・ワークショップの開催
- ⑤記念館における観光案内委託業務
- ⑥グッズ・メニューの制作業務
- ⑦映像コンテンツ作成業務

(3) 県負担・補助率の考え方

県が実施する事業であるため、県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	600	先進事例調査、連携調整
需用費	6,800	P R 用消耗品（ノベルティ等）、ポスター、リーフレット印刷等
委託料	53,855	イベント業務委託、広報業務委託、映像コンテンツ作成業務等
その他	325	
合計	61,580	

決定額の考え方

--

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱの3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(2)次世代を見据えた産業の振興
④観光産業の基幹産業化

(2) 事業主体及びその妥当性

県が管理運営する施設での事業であるため県執行が妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

誘客イベントや関ヶ原研究の発信を通じて関ヶ原古戦場の更なる魅力を創出し、観光客数の増加を図るとともに、関ヶ原古戦場を核とした周辺地域の周遊観光を振興する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①入館者数		198,668	199,000	190,000	200,000	99.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標： 実績： 達成率：
令和5年度	指標① 目標： 実績： 達成率：

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない	
(評価) 3	記念館をいかに運営していくかが重要であり、そのためにも有効な手段を用いて来館者数の増加に努める必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 記念館の認知度を高め来館者の確保につなげるためには、魅力的な企画や展示、関ヶ原研究の情報発信を行っていく必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 関ヶ原及び西濃地域の観光誘客のためにも有効な企画や展示等を行い、館の魅力や最新情報をPRしていく。また、関ヶ原の戦いに関する研究の推進のため、関ヶ原研究会会員等の意見を取り入れながら事業を実施していくことが求められる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】